

会 報

静岡県技術士協会 S C E A Shizuoka Consuluting Engineers Association
事務局 久保嶋技術士事務所内 TEL 0545-34-0900 FAX 0545-34-0900

会長：木村芳正 専務：久保嶋 勝巳 会計：齋 強志 会報担当：稲葉・田辺・大井
会計振込先：静岡銀行沼津支店普通1162090 静岡県技術士協会 齋 強志

【報告記事】2004年度第1回例会 (見学会) 「(株)木村鑄造所」御前崎工場

2004年7月15日(木)13:30より



(株)木村鑄造所見学を終えて 2004. 4/23/工場玄関にて
(前列左端が木村社長)

概 要

例年より10日以上早い梅雨明けを迎え、本物の夏日となった7月15日(木)、第1回例会として見学会が開催されました。今回は東部地区の担当ですが、御前崎市の(株)木村鑄造所にお邪魔して最近の鑄造技術の実際をつぶさに勉強してまいりました。

一年で最も暑い時期の暑い時間帯に、もっと熱い溶かした鉄を見に来てくれたと、急遽直接の案内役を務めていただいた木村社長からは逆に感謝されてしまいました。

実際のところ、溶かした鉄を鑄型に流し込む注湯・冷却工程の現場に比べれば炎天下の外はほっとする涼しさです。13:00から17:00近くまで、しっかり時間をかけての研修・見学会となりました。

見学受け入れの準備に時間を割いていただきました菅野部長ならびに当日お世話いただきました木村社長、岩倉さんに篤く御礼申し上げます。また、協会と会社の橋渡しでご尽力いただいた山本治利会員に感謝申し上げます。

参加者数：21名

「会社および工場の概要」(要旨)

木村社長

皆さん今日は、お忙しい中またお暑いなか、さらに熱いわが社を見学いただき誠に有難うございます。
工場の現場をご覧いただくに先立ちまず当社の事業概要と、製造の現状を説明をさせていただきます。
(以下、取材ノートにしたがい記録します)

会社の概要

本社は駿東郡清水町長沢にあり、施設は老朽化、手狭になりこのままでは優秀な人材も集まらないと考え、新工場の建設地を物色した結果、最新工場として浜岡町(当時)のこの地に進出した。

～本社地元である東部地区で技術士の先生方から見学の申し出があつたのに、方向違いの当地までご足労をおかけする結果になってしまいました。(社長：すこし恐縮)

本社のほか、群馬、伊豆長岡に工場・事業所を設けている。
木村グループ全体で615名、このうち御前崎工場には142名の体制。

御前崎工場の出荷規模
4,250 t / 月 (2004.4月期)
内製化比率は国内でもトップクラス。

主力生産品目
金型用鋳物
工作機械用鋳物
(機械フレーム、ベースプレートなど)
産業機械用鋳物
(変速機ケース、ポンプケーシングなど)

模型づくり

鋳型のもととなる製作物の原寸模型をまず製作する。材質は発砲ポリスチレンで、注湯の段階で高温でガス化する。この精度の如何によって製品の品質が決定的に左右される重要な工程で、木村鋳造ではC A D・C A Mシステムを全面的に導入し、徹底したデータ管理のうえで迅速かつ高精度、安価な模型製作を実現している。

～曲面形状の立体的な模型がC A DなどI T化によって高精度で対応できるようになった。大型の製品では分割して三軸加工する。

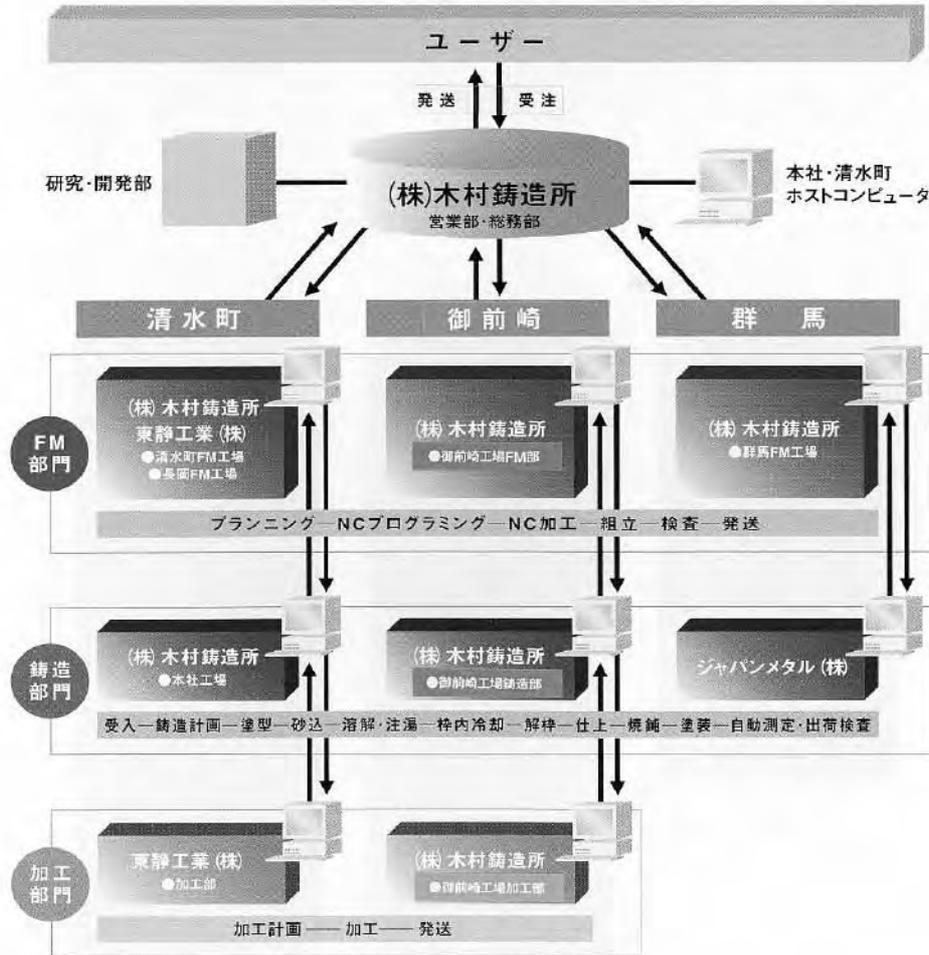
～C A D・C A Mによる模型製作の比率は、1996年、4.8% 2002年、100%。
その一方で顧客からのデータ支給は0.6% 37.0%のとどまっております、ブループリントの設計図からC A Dデータをおこす業務が飛躍的に増加した。～これにともない、当社の人材需要も大きく変化し、I T分野の人材採用に重心移動をしている。



写真左上：木村社長

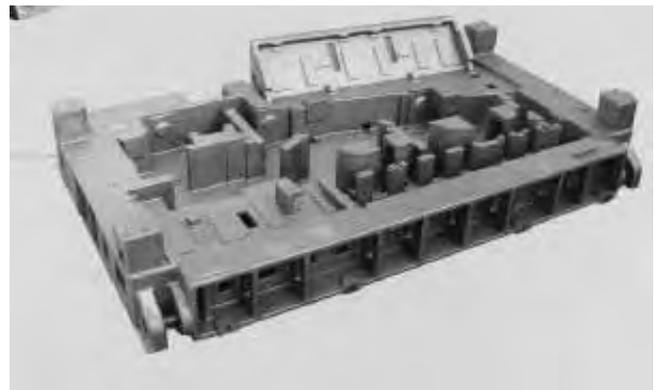
写真左下：御前崎工場、岩倉さん

写真上：受講風景



製品イメージ・他

(株)木村鋳造所Corporate Guideより



質疑・社長講演

炎熱の現場視察ののち、涼しい会議室にもどり、質疑応答の時間になりました。

専門外の会員からの切り口をかえた質問も飛び出し、技術士協会ならではの雰囲気でした。

そのなかから・・・

Q. 鋳物の鋼を密着させるという「スチール溶着鋳物」は、どのようなメカニズムで可能なのか？

A. 鋳物と鋼の違いは簡単に言うと炭素含有量で、鋳造の際の高温により、鋳物と鋼の界面付近で炭素の移動が自然発生し炭素含有量がグラデーション的に移行する部位ができる。これを拡散接合と言っている。

Q. CADデータ作成の現場などを拝見したが、総じて社員の年齢が若いのと女性が多いのに感心した。

人材教育はどのように実施しているか？

A. まず人材の採用は主として地元での募集が中心。入力の技能訓練は社内で行い、全員がキーボードを見ずに入力できる水準を目標にしている。

また、模型製作の現場では根気と注意力を要する内容なので女性の適性があると考えている。

図面なしで組み立て作業を行うことで女性にも十分対応できる。データ作成室からの三次元イラストだけで組み立て作業が可能である。

～実際の現場で“イラスト”を拝見した。プラモデルに付いてくる組み立て説明図のカラー版のようなものあった。

社長講演

「環境予測」

--- 長期経営計画立案の基礎として

最後に木村社長から、今後の事業計画を立てていくにあたり、指針とすべき事項を社長がまとめた標記の講演をいただきました。

地球規模の時間的、空間的な流れをまず把握し、そのなかから、事業の進むべき方向を見出そうとする社長の視野の広さを感じさせる内容で、感銘をもって受講してまいりました。

我々人類の直接の祖先といわれるクロマニヨン人が長寿で「おばあさん」が存在し、コミュニケーションと継続性をもつ生産活動により、人口増加がはじまった。

その人口増加傾向がここに来て減少に転じはじめた。従来からの手法で今後の社会変化を乗り切ることができず、「人口＝社会規模の減少」を前提とした思考にシフトしていかなければならない。どうすればいいのか、今後考えていくべき中心的な課題であると認識している。

大要、このような趣旨で、社長自身で集めた豊富なデータを駆使した迫力を感じさせる講義でした。



木村鋳造所本社・本社工場（駿東郡清水町）

同社ホームページより <http://www.kimuragr.co.jp/>

理 事 会 報 告

はじめに

本年度からはしめるコーナーです。定例の行事にとどまらず会の運営には定期的、臨時あわせて1.2ヶ月に一度のペースで常任理事会が行われています。その様子をお伝えする場としてこの報告コーナーを設けることとしました。来年には会の創立40周年記念行事も予定されており、さまざまな面で会員の皆様のご協力をお願いしなければならない場面が多いものと思われます。そのために、役員と一般会員の情報ギャップを解消し、認識の共有をはかってまいりたいと考えております。

理事会議事録のなかから、個人情報に係るものおよび相手先の迷惑になるおそれのある内容を削除しますが、あとは原則オープンでいきたいと思っております。“こうしてみよう”と決めたことの中には、総会の議決を必要とする事項もあり得ます。次回の総会で議題にいたしますが、当面は会長の判断による「試行」とご理解いただきたいと思います。ご意見、ご提案などありましたら役員までご一報いただければ幸いです。

2004年度 第1回常任理事会

2004年6月13日 (久保嶋技術士事務所にて)

1. 報告・連絡

1) 木村会長公務状況

4月24日(土) 愛知県技術士会、三重県技術士会の定時総会招待に出席

同日開催の三重県技術士会総会は神立副会長にお願いをして出席いただきました。

5月8日(土) 新旧専務理事書類等引継ぎ

5月15日(土) 岐阜県技術士会定時総会招待に出席

当日午後3時より岐阜テクノプラザにて。

5月22日(土) 日本技術士会中部支部定時総会に出席

当日14時より名古屋国際会議場にて。

当日の議案(H16・支部役員等一部改正の件)の中で、副支部長の1人として小生が守屋前会長と交代する件。幹事として伊藤和美会員と吉澤 淳会員がプラスされる件。試験事業委員会には中田洋輔会員が、岡井政彦会員が技術委員会メンバーとして活動する件。

5月27日～ 本部応用理学部会・神奈川県技術士会・静岡県技術士協会3団体共催セミナー活動開始。本部の応用理学部会発案で、上記3団体による「技術士会地震シンポジウム(仮称)」を、本年10月15～16日に伊豆市冷川の中伊豆荘で開催の計画があります。

この件に関しては北本達治会員が神奈川県技術士会会員であり、また応用理学部会飯田部会長とある程度懇意な間柄でもあり、当ワーキングに参画いただくよう、お願いしてあります。

5月31日(月) 中部支部長と静岡県知事訪問

2) 委嘱業務

中小企業金融公庫(静岡支店) (04年6月3日)

技術評価/鑑定依頼あり 処理 木村会長/受諾

技術評価委員(しずおか産業創造機構) (04年6月25～)

技術評価依頼あり 処理 久保嶋専務理事/受諾

3) 会報発行状況

NO.107号の編集、印刷完了。 発送業務のみ。 発送業務の統一化は次回検討事項

4) 7月例会 04年7月15日(木) (東部地区担当)

(株)木村鑄造、御前崎工場視察。 訪問依頼書、案内書、同 発送作業の打ち合わせ

2. 協議事項

1) 40周年記念事業への準備

作業内容に事前チェックと作業計画の策定。

・実行委員会の編成(編成の時期、委員委嘱の手順)～各地区3～4名ずつが必要と考える。

2) 地区の代表連絡先の設置

現 副会長がその任(機能)を負っていると認識している。～確認

3) 事務引継ぎの一本化

引継ぎ物がPCソフト・バージョンやハードの総意により整合性がなく、支障がでている。

ハード&ソフトを一体で引き継ぐ必要がある。 廉価のPCを購入して機械ごと引き継ぐことを検討したい。

1. 報告・連絡

1) 苦情

会報記事の誤り(吉澤副会長の勤務先、氏名等)。ご本人にお詫びの上訂正記事を掲載する。

見学受け入れ先への文書提出の遅れ。先方の事務処理遅延が原因と判明。

外部あての文書様式や決済の手順が定まっていない。今後の検討課題。

脱会(清水博之会員(機械))3/19届け出済み。確認。

宣伝活動(佐藤仁一会員)

某保険会社より技術鑑定/評価業務の相談を受け、当協会を紹介したい。

独断であるが、了承した。

その他

日本技術士会応用理学部会(神奈川県技術士会との共催セミナー)について。

共催となることができない。当協会が日本技術士会の名称を冠していないことが主原因。

共催はしないが、地元の会員として参加することはおおいに結構との立場を確認。

2. 協議事項

1) 40周年記念事業への準備

実行委員会の編成について。

各地区4名程度の人選(推薦)を地区代表(副会長)に依頼する。

ベテラン、県との人脈ある方、若手をバランスよく人選するよう依頼する。

積立金は委員会にそっくり引き継ぐ。

積立金名義人と通帳管理者の同行をもとめて円滑に事務処理を行う

2) 監事の変更

藤田監事の退会のともなう変更。森稔夫会員が了承。

3) 事務処理のための記載簿の様式統一。

様式案を次回提出の予定。本年度中は会長判断による“試行”とし、不都合を洗い出す。

協会HP上からダウンロードできるようにする(予定)。サイト管理者(山下会員)に相談する。

4) 事業の活性化(会員の市場開拓)

提案技術課題の策定(プロジェクト研究等)体制の編成と実務(関与する内容と行動)

について。

常任理事会を支援する部会(委員会=例:企画委員会、案件検討委員会など)の組織化。

5) その他

投稿のおすすめ

会報担当より、“おねがい”

ただいま手持ちの原稿がまるでありません！ 会員の皆様の会報誌面です。

ふるって投稿をお願いいたします。

テーマ、ジャンルを問いません。また字数も問いません。(字数が多い場合は複数回に分けた連載方式にするか、投稿者の承諾のもとで字数を減らすようにいたします)

技術士協会の会員に向けたメッセージとしてふさわしいと思われる内容であれば結構です。

テータの形式も問いません。ワード、一太郎、エクセル、その他。できればテキスト形式であればなお結構です。送る方法は電子メールが手軽だと思います。

紙に書いた“本来の原稿”でも構いません。FAXで送れば簡単です。当方での入力に時間がかかるので掲載が少し遅れるかもしれません。これはご了承ください。

投稿先はこちらまで・・・・・・・・

会報担当・稲葉

e-mail : inabapp@ybb.ne.jp TEL&FAX 055-987-2118

〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩 509-58

おしらせ

『丹那断層見学会・講演会』のご案内

2004年10月15(金)～16(土)

日本技術士会応用理学部会・神奈川県技術士会共催

かねてより地元静岡県技術士協会にも協力や共催の打診があり、応用部会幹部や神奈川県技術士会担当との連絡をとってまいりました。結局、ご案内のような諸般の事情により、当協会としての関与はいたしておりませんが、地元開催の行事であること、内容的に極めて意義深いものであることから、会員個人の立場で参加していただければと存じます。

応用理学部会長からのメッセージをそえてご案内いたします。

メッセージ

旅行の件に関して、私の見通しの甘さから多大のご迷惑をおかけいたしました。そもそもの発案者の私としては、静岡県在住の技術士諸兄が個人として参加されることを、予定されている定員の限度内ならば、大いに歓迎したいと思っております。夜間に懇親会も計画されているようですから、ざっくばらんにお話をするのにも得がたい機会かと思えます。(中略)

末筆ながら、静岡県技術士協会、神奈川県技術士会(こちらは、私自身も一会員として所属しております)のこれからのますますの御発展を祈念しております。

応用理学部会長 飯田喜哉

丹那断層見学会・講演会[10/15(金)～16(土)]
(応用理学部会、神奈川県技術士会 共催)

10/15(金)

午前 丹那断層見学(10:00熱海駅集合予定)

午後 応用理学部会会員 講演
神奈川県技術士会会員 講演
特別講演 末次大輔先生
(海洋科学技術センター)
演題「地球の中を透視する」

夕刻 懇親会 宿泊

(国民宿舎「熱海ビレッジ」)

TEL: 0557-81-8295)

参加申し込み・お問い合わせ先
FAX 03-3430-0880 東山
e-mail: s-higasi@s2.ocv.ne.jp



カット著作権: Kaz's Cafe
Terrace <http://kazcafe.tpot2.com/>

おしらせ

『経営支援アドバイザー』に登録しませんか

(財)しずおか産業創造機構
経営支援アドバイザーに登録しませんか。

アドバイスや支援を求める企業の依頼によって財団が登録した専門家を派遣するしくみです。旅費をふくめた費用の2/3を財団が負担します。(1/3は依頼した企業が負担)

企業内技術士の方でも所属する会社の了解があれば登録可能です。費用はかかりません。

当協会会員もすでに多数が登録しています。



問合せ・登録申請先は・・・

財団法人 しずおか産業創造機構
〒420-0853 静岡市追手町44-1
静岡県産業経済会館4階
FAX (054) 251-3024 ・ (054) 253-0019
<http://www.ri-c-shizuoka.or.jp/>

お詫びと訂正

2004. 9/15事務局

会報NO. 107すなわち前号でお知らせいたしました役員名簿に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。訂正部分を再掲載します。

なお、今後このようなミスを未然に防ぐチェック体制を整えるとともに、訂正などのお知らせは協会のホームページ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ に逐次掲載してまいります。

情報伝達の同時性、迅速性はインターネットの優れた機能なので活用をはかっていく予定です。おおいにご利用くださいますようお願い申し上げます。

氏名 (部門)	tel&fax	e-mail (自宅)
現住所	(勤務先)	e-mail (勤務先)
吉澤 淳 (化学部門)	053-436-3496 (tel)	atsu-yoshizawa@nifty.com
〒420-0831静岡市水落町5-11	053-438-8170 (fax)	
	日本理化学製紙(株) 0543-45-3411	

会費納入のお願い

会計担当

例年の傾向とは聞いていますが・・・

納入先(口座)は次のとおりです。

7月末の段階で会費を納入いただいた件数は50名弱、全会員の約30%にとどまっています。会員から納めていただく会費をおもな財源として運営されている協会です。(他にこれといった財源がないので事態はこのほか深刻です。)

静岡銀行 沼津支店 普通1162090
静岡県技術士協会 齋 強志

年会費は8,000円です。

誠に恐縮ですが、振込み手数料等は各自で負担いただきたいと存じます。

現在、会費を未納の方々におかれましては、このあたりの事情をご理解いただき早速納入いただきますよう、お願いいたします。

会計担当理事

齋 強志

編集後記

2004年度の実質的な行事が先日、7月15日の第1回例会でした。今回は東部地区が準備を担当いたしました。会場は西部地区の御前崎市と掛川(懇親会会場は掛川グランドホテル)でした。もともと東部地区では場所へのこだわりが希薄な傾向があります。かつての山梨リニア実験線しかり、横浜みなとみらい地区のビル建設現場など、県外に出ることにこれといった抵抗がないのでしょうか。今回お願いした(株)木村鋳造所は、本社こそ駿東郡にありますが、事業所の多くが県外などに散らばっています。「是非浜岡工場(お願いした時点)をみて欲しい」との木村社長のお勧めをいただいた上は、万難を排してでもこれをやるぞ、と意気込んだものでした。

実際その場にお邪魔すると、見学を担当してくださる予定の菅野部長が急な出張で留守。代わりになんと社長ご自身で現場を説明して回るという意外な展開が待っていました。こうなると、熱いなどと文句を言われるものではありません。

交通の便に問題のある今回の例会に多数参加いただけたことも、準備した身には「うれしい」誤算でした。次回はどのようなハプニングがまっているのでしょうか。

2004. 8月末/稲葉